

5月の園便り



令和2年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤由美子

新入園児さんの保護者会「青陵幼稚園の教育説明会」において、「愛され理解されていれば、絶対に曲がることはなく育ちます」と申し上げましたが、その理由を少し補足させていただこうと思います。曲がらずに育つということは、人として歩むべき道からそれることなくということですが、そのためには、乳幼児期に社会的なルールを身につけたり、社会的知性と言われるものを身につけることが大事です。赤ちゃんが何かを見つけた時、良し悪しを問うごとく、お母さんを見ます。これが親の指示を確認しながら自分の行動を修正していくもとなると言われています。また、赤ちゃんが発した声をきいて、お母さんが同じ声を出して応じたり、おむつ濡れたかな？お腹すいたの？どうしたの？寒い？などと語りかけたりして、お母さんが赤ちゃんの気持ちを理解しようとしませんが、これを続けていくと、子どもが、お母さんの気持ちを心の中に入れていくようになります。そして、自我が出てくるイヤイヤ期には、「イヤ！！」と言ったときに、お母さんが「あ～そうなのね」とゆったり受け止める。（イヤ！＝自己主張、自己主張できることを喜んで受け止める）

つまり、①赤ちゃんが振り返った時、きちんと応じる、②赤ちゃんの気持ちを理解しようと、必要に応じてやろうとする、③イヤイヤ期においても、子どもの気持ちを受け入れ理解しようとする、こうしてお母さんが受けとめてあげると、子どもはお母さんが言ったようにしようと思って頑張ります。子どもの気持ちを分かろうとすることは、イヤイヤ期だけでなく幼児期も同じです。一度受け止めましょう、理解しようとしましょう、お母さんの愛情がしっかりと伝わります。でも、もし子どもの言動が、受け入れられないことだったら・・・お母さんが言いたことは、子どもの心もお母さんの心も、ちょっと落ち着いてからにしましょうね。お茶でも飲んで、気持ちが落ち着いてから伝えましょう。例えば「ご飯は座って食べられるといいね」とか「本当は、叩かないで、言葉で言えたらいいね…」などと、お母さんがして欲しいことを言葉にして伝えましょう、本当はこうしてほしいという“本来とるべき行動”がきちんと伝わります。目指すべき言動を伝えてもらったということは、今度はどうすればいいのかが分かりますから社会的知性につながりますね。頭ごなしに「何を言ってるの」「だめでしょ！」などと言ったら、お母さんの愛情も理解しようとしていることも伝わりにくくなります、これは、とてももったいないことです。「あなたの思い、よく分かるよ。」というお母さんの思いを知る経験が多ければ、多いほど社会的知性が育つのだろうと思います。子どもにお母さんの温かい想いが伝わるように、一度受け止めて理解するということを心がけたなら、子どもたちは自信をもって良い方向を目指して伸びようとしていますね。

5月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	金	/	/		
2	土	/	/		
3	日	/	/		
4	月	/	/		
5	火	/	/		
6	水	/	/		
7	木	/	/		
8	金	/	/		
9	土	/	/		
10	日	/	/		
11	月	○	2:30	赤ばらさんも給食があります。	
12	火	○	2:30		
13	水	○	2:30		
14	木	○	2:30	白ばら1組学級懇談会を行います。	
15	金	○	2:30	白ばら2組学級懇談会を行います。	
16	土			閉園	
17	日	/			
18	月	○	2:30	定期健康診断の予定でしたが、秋に延期いたします。	
19	火	○	2:30		
20	水	×	11:30	誕生会です、4月・5月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。	
21	木	○	2:30		
22	金	○	2:30		
23	土			閉園	
24	日	/			
25	月	○	2:30		
26	火	○	2:30		
27	水	○	2:30		
28	木	○	2:30		
29	金	○	2:30		
30	土			森と海の探検隊を行う予定ですが、変更の可能性も考えられます。	
31	日	/			